

研究者・技術者のための 「技術プレゼンテーション」 スキル向上セミナー

スライド作成&本番実践編

開催日時 2025年 6月23日(月) オンライン
2025年10月 7日(火) 大阪会場
2026年 2月16日(月) オンライン 各回とも 10:30~16:30

対象

- 研究者、技術者などプレゼンによって自身の成果を伝えたい方
- 技術営業担当などで専門知識を詳しくない方にもわかりやすくプレゼンしたい方
- 成果が伝えられない、認められない方
- 結果報告や技術報告に苦手意識のある方

講師 奥村 治樹氏
ジャパン・リサーチ・ラボ 代表

参加料(税込)

法人会員：55,000円/1名

会員外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

技術者、研究者のプレゼンにおいては、まず専門知識や技術、結果をわかりやすく説明する必要があります。ところが、“発信すること”に偏ってしまい“伝える”ことができず、せっかくの努力が日の目をみない状況を招いている方が多いです。

本セミナーでは、専門知識や新しい技術を扱う技術プレゼンの特異性をふまえながら、単なる情報発信ではなく「理解させ、納得させ、人を動かすことができる」伝わるプレゼンの極意とノウハウを習得することができます。

大手企業において数々の学会発表や講演を経験してきた講師が、技術者の視点から専門知識をわかりやすく伝えるコツを解説します。プレゼンに苦手意識を持つ方もぜひご参加ください。

本セミナーで修得できること

- ✓ 研究開発の結果を成果にすることができるプレゼン力
- ✓ 技術者に必要な伝わるプレゼン力、説得力、承認獲得力
- ✓ 結果を成果に昇華するスキル

参加者の声

- 多くの演習に取組んだからこそわかったことがあった。頭ではわかってはいたが実際にはできていないことを再認識した。自分のプレゼンは伝えるべきところが曖昧であることがわかり、次に活かしていきたい。
- 講師のプレゼンの進め方が非常に参考になった。これまで聴講者の意識・集中力を保つのに四苦八苦していたがそれを防ぐためにさまざまな工夫が成されていると実感した。
- プレゼンを行う機会が多くあり資料作成時にはある程度「型」のようなものを自分の中で持っていた。今回、対象とする相手や状況、伝えたいことなどに応じて、ストーリーを組み立てていくというプロセスを学び、とても良い機会であった。

■ プログラム【スライド作成&本番実践編】

10:30~16:30 [昼食] 12:00~13:00

1 自己紹介 演習

2 イントロダクション(定義)

3 伝わるスライド

- スライド検討の基本
- グラフの工夫
- スライドフロー
- イメージ化
- データの伝え方
- 伝わるスライド

4 不安と緊張

- 不安の要素
- 失敗の克服
- なぜ苦手、不安に感じるのか

5 プレゼンに慣れるためには

- 練習
- 不安、緊張を和らげる
- 練習法
- 理想イメージ

6 コミュニケーション

7 パフォーマンス

- 話し方
- いくつかのテクニック
- 言い方ひとつで印象が変わる
- 全身で伝える
- ポイントシグナル
- あなたも情報の一部
- 「つかみ」で掴む
- 「転」でこける

8 質疑応答

- 質疑対応
- 否定的発言
- 相手の勘違い
- 意地悪な質問
- 質問に答える
- 異なる意見
- 聞き返し
- 質疑

9 まとめ

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

【おすすめ】

本セミナー単独受講でも効果がありますが、**構想&内容準備編**を先に受講いただくとさらに理解が深まります。

